

米沢有機農業産地づくり推進協議会（山形県米沢市）

R5補正
R6当初

09

背景・課題

有機農業の面積拡大には、新規有機参入者の確保が必要である。しかし、農家の経験や勘による栽培が中心であり、栽培技術が確立されにくいいため、容易に参入できる環境を整備していく必要がある。

また、価格が慣行農産物に比べて高い傾向にあるため、市場流通では扱いにくく、消費者等との直接販売といった個々の販路を開拓していく必要がある。

成果目標

○有機農業の取組面積の拡大

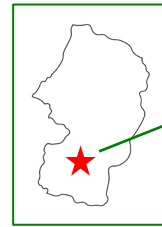
R3年度 12ha ⇒ R9年度 42ha (R5年度 19.2ha)

○有機農産物の販売数量の拡大

R3年度 56.8t ⇒ R9年度 207t (R5年度 68.8t)

○有機農業に取り組む農業者数の増加

R3年度 13人 ⇒ R9年度 20人 (R5年度 20人)



米沢市

構 成 員

有機農業実践者、市内加工業者・流通業者、市内飲食業者、消費者団体、山形おきたま農業協同組合、農機具メーカー、学術機関（県立米沢栄養大学等）、米沢市 等

品 目

水稻、野菜、大豆、麦

主な取組内容

○生産【栽培技術先進地視察の実施】



栽培技術先進地(千葉県山武市)及び学校給食先進地(千葉県いすみ市)の視察を実施。

○加工・流通【ECサイト研修会の開催】



有機農業者が新たな販路開拓に向けた実践的な知識・手段を学ぶ機会として実施。

○消費【小中学校給食への有機農産物の提供】



未来の消費者である小中学生を対象に有機農産物を提供し、併せて農業者による講話を実施することで有機農業を周知。

○消費【市内マルシェの開催】



市民向けの販売会を開催し、有機農業及び有機農産物について、消費者の理解醸成を図った。

普及に向けた取組

○生産面では、本事業において有機JAS認証検査費用を補助することで、有機JAS認証取得者の増加を図るとともに、省力化機械など栽培労力の負担を軽減する手段について、実演会を実施する。また、収量減という有機農業の課題解決に向けて、実証ほ場の設置や栽培研修会を行うなどの取組を引き続き強化する。

○流通・消費面では、個々の販路拡大のため、オンライン商談会を行い、安心して栽培ができるよう販売先を確保する。また、学校給食への有機農産物の継続的な使用に向けて、実際の現場で働く栄養教諭・調理師との意見交換会を開催する。

米沢有機農業産地づくり推進協議会（米沢市産業部農政課事務局）
〒992-8501 山形県米沢市金池五丁目2番25号
TEL：0238-22-5111 / FAX：0238-24-4541
MAIL：noutiku-t@city.yonezawa.yamagata.jp

問い合わせ先